

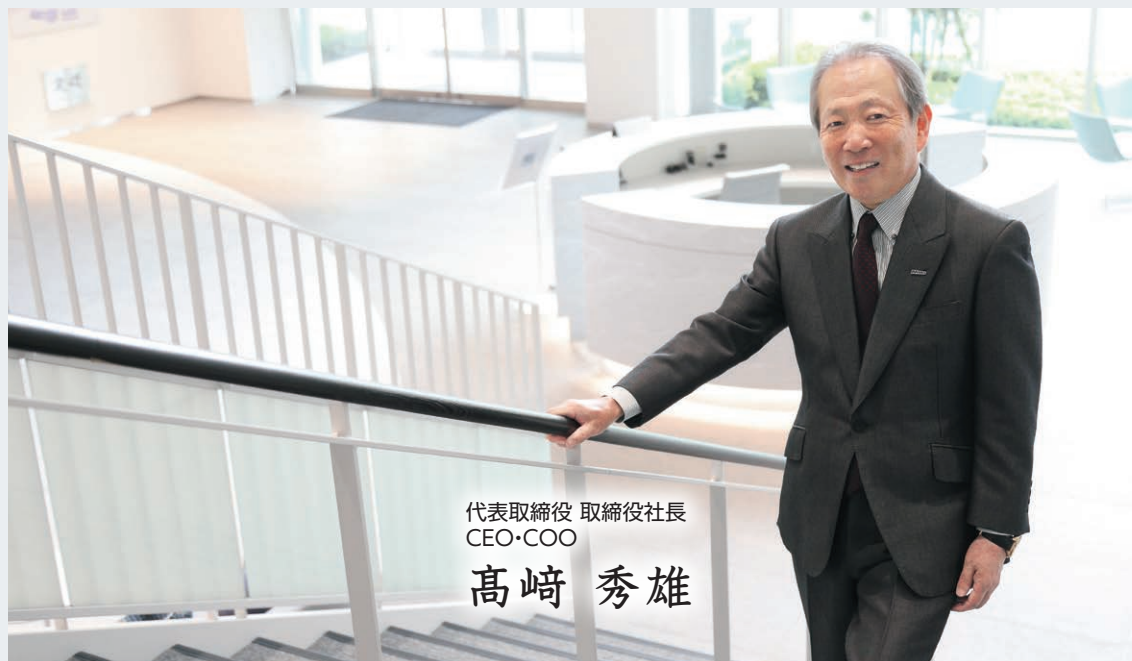


Innovation for Customers

第156期ご報告

2020年4月1日～2021年3月31日





代表取締役 取締役社長
CEO・COO

高崎 秀雄

2020年度の業績について

2020年度の経済環境は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により一時的に景気の減速感が強まりましたが、経済活動の再開に伴い消費の持ち直しが見られました。Nittoグループにおいては、新たな生活様式の広がりによるエレクトロニクス市場の進化やライフサイエンス市場の成長といった変化の中で、新たな需要として「伸ばすもの」が生まれました。一方、需要は「戻るもの」と「戻らないもの」に分かれ、それぞれの変化に合わせて柔軟かつスピーディーに対応しました。

このような環境の中、Nittoグループの主要な市場においては、テレワークの拡大などを背景に、電子機器の組み立て用部材および半導体の生産における工程用部材並びにノートパソコン、タブレット端末用光学フィルムの需要が伸長しました。TV用光学フィルムは、Nittoグループの推進する知的財産戦略の一環として協業先との連携を強め、技術供与によるロイヤリティ収益を計上しました。今後、成長が期待されるプリント回路では、高精度基板を用いた新しい市場への取組みとして、スマートフォン用部材の業績への寄与が始まりました。また、核酸医薬市場においては、COVID-19治療薬やワクチン開発など核酸医薬への期待はこれまで以上に高まっており、受託製造事業および関連部材の需要が堅調に推移しました。加えて、医療用マスク材料として多孔質部材の需要も伸長しました。以上の結果、売上収益は7,613億円（2019年度比、2.7%増）、営業利益938億円（同、34.5%増）となりました。

2021年度の方針について

2021年度の世界経済の予測は、COVID-19のワクチンが先進国や新興国の一部に普及するとの期待や各国における景気支援策などにより成長が見込まれます。一方で、毒性や感染力の強い変異ウイルスの流行やワクチン普及の遅れ、防疫のための経済活動抑制施策の再発出といったリスクも想定され、経済の先行きは高い不確実性を抱えています。

このような環境の下、Nittoグループは、外部環境の影響を受けにくい強靱な企業体質の構築を目指します。Nittoグループ独自の戦略の柱である「三新活動」と「ニッチトップ戦略」に磨きをかけ、需要の拡大や成長が期待される領域で「伸ばすもの」に注力し、事業の成長を推進します。一方、「戻るもの」に対しては、さらなる生産性の向上による収益の最大化を目指します。「戻らないもの」に対しては、構造改革により不採算な事業や製品の整理・統廃合を進め収益の改善を図ります。

また、Nittoグループは「安全をすべてに優先」を方針に掲げ、あらゆる事故・災害をゼロとすることを目指します。さらには、より良い未来のため、事業の成長のみならずサステナビリティ社会の実現に向けた取組みを一層推進します。

なお、2021年度の業績予想は、想定為替レート1米ドル105円の前提で、売上収益は7,850億円（2020年度比、3.1%増）、営業利益は1,050億円（同、11.9%増）としております。

利益の還元について

Nittoグループは、株主の皆様に対して安定的に利益の還元を行うことを基本にしています。一方、急速な技術革新への対応と顧客ニーズにタイムリーに応えるために、内部留保を使って研究・開発および生産に関わる積極的な先行投資を行っていくことも必要不可欠です。

株主の皆様に対する配当金につきましては、将来の投資機会、財務状況、資本効率、利益水準、および配当性向等を総合的に勘案して実施することとしています。また、内部留保についても定期的に水準を確認し、総合的に勘案して用途を定めていきます。

当期末の利益配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、中間配当金と同額の1株につき100円とし、年間の配当金は200円とさせていただきます。次期の利益配当金につきましては、利益状況と設備投資等を総合的に勘案して年間220円を予定しています。

セグメント解説

インダストリアルテープ



両面テープ

2020年度
売上収益
3,090
億円

- 基盤機能材料
(接合材料、保護材料、
プロセス材料等)
- 自動車材料

2020年度 セグメント別 売上収益構成比

39.1% 54.2%



オプトロニクス



超薄型偏光フィルム

2020年度
売上収益
4,288
億円

- 情報機能材料
- プリント回路

2021年度の取組み

市場の変化に柔軟に対応し、技術の深化でさらなる差別化を図ります。さらには、生産体制の最適化などの構造改革を実行し、高い利益率を安定的に生み出せる事業基盤を構築します。

ライフサイエンス



核酸合成材料

2020年度
売上収益
298
億円

- 医療関連材料

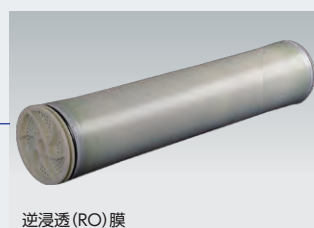
2021年度の取組み

今後、急激な拡大が見込まれる核酸医薬市場において、受託製造事業の生産能力を増強し、さらなる収益の拡大を目指します。創業においては、研究開発と治験を進め、新たな事業の柱を育てていきます。

2021年度の取組み

情報機能材料では、OLEDディスプレイ用の光学フィルムの採用拡大に向けて取り組みます。プリント回路は高精度基板において、生産能力の増強を一層進め、スマートフォン用部材への供給を拡大します。

その他



逆浸透(RO)膜

2020年度
売上収益
232
億円

- 高分子分離膜
- その他製品

2021年度の取組み

高分子分離膜では、生産プロセスの自動化によるコスト低減、エネルギーや環境分野での新たな製品の創出と育成に取り組めます。その他製品は、開発中案件の早期量産化を目指します。

(注)

1. 売上収益構成比は、全社・消去を含まずに算出しています。全社・消去の売上収益は、△297億円です。
2. 各セグメントの売上収益は、億円未満を切り捨てて記載しています。

TOPICS トピックス

TOPICS 1 プリント回路の新製品「高精度基板」 亀山事業所へ投資

プリント回路事業における高い技術力を活かして、新製品「高精度基板」を開発しました。スマートフォン市場などへ参入するため、三重県の亀山事業所に高精度基板の専用工場を新設し、2020年度から量産を開始しました。

プリント回路事業は、1996年に回路材料CIS (Circuit Integrated Suspension) の量産を開始してから、堅調に事業を拡大してきました。この高精度基板の拡販により、CISの成長とともに、プリント回路事業の一層の拡大が期待されます。



高精度基板専用工場

TOPICS 2 核酸医薬製造関連事業を増強

大衆疾患や癌などの難治性疾患の治療薬として期待される次世代医薬品「核酸医薬」の急激な市場拡大に対応するため、米国子会社のNitro Denko Avecia Inc. (主な所在：米国マサチューセッツ州、以下「アビシア社」) をはじめ関連事業所およびグループ会社に総額約250億円を投資し、核酸医薬事業の大幅な製造能力の増強を行います。

このたび、アビシア社ミルフォード工場において、核酸製造プロセスおよび分析法開発能力を

拡張し、迅速かつ確実な核酸製造プロセス設計サービス機能を増強します。また、商用薬の原薬製造用建屋と製造ラインを新設し、商用に必要な核酸原薬の十分な供給能力を確保いたします。核酸製造プロセス開発技術棟は2021年、商用薬製造用建屋と製造ラインは2023年初頭の稼働を予定しています。

今後さらに核酸医薬合成用ポリマービーズの供給能力を増強し、早期臨床用の製造など、積極的な資源投入を計画しています。



アビシア社ミルフォード工場の新建屋 外観イメージ

TOPICS 3 日東電工ひまわり株式会社 創立20周年

日東電工ひまわり株式会社 (以下「日東電工ひまわり」) は、「障がい者、高齢者がいきいきと働ける職場を提供しよう」という想いのもと、日東電工株式会社豊橋事業所内に設立し、2020年10月18日に創立20周年を迎えることとなりました。

設立時は社員25名 (うち障がい者15名) で、粘着テープの加工からスタートしましたが、その後、印刷・清掃・緑化・クリーニングなど多くの事業を加え、現在では日本全国に6拠点 (埼玉・愛知・三

重・滋賀・大阪・広島) を構えるグループ会社に発展し、社員も総勢256名 (うち障がい者182名、2021年3月31日時点) となりました。

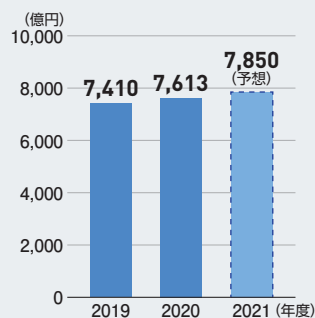
今後も一日一日の積み重ねを大事に、Nitroグループの経営理念である「新しい発想でお客様の価値創造に貢献します」を基本として、チャレンジを続けることで、日東電工ひまわりの名の如く真つすぐに成長して参りたいと思います。



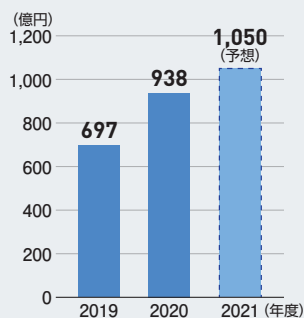
2020年度 業績ハイライト

※2014年度より国際会計基準 IFRSを適用しています。

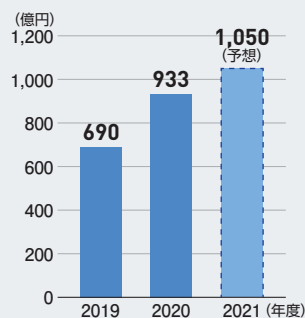
売上収益



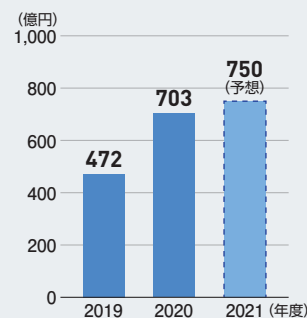
営業利益



税引前利益



当期利益



海外売上収益比率 ※1

77.6%

海外売上収益 **5,910**億円
国内売上収益 **1,702**億円

※1 2020年度連結売上収益に占める
海外での売上収益の割合

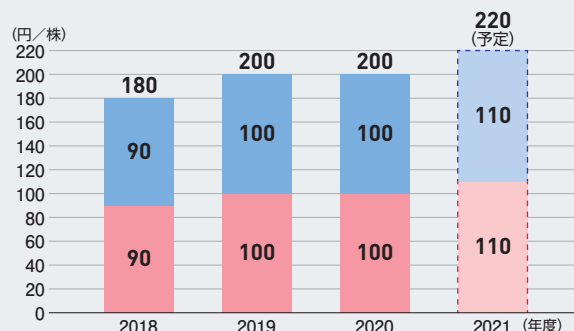
自己資本比率 ※2

74.1%

自己資本 **7,158**億円
総資産 **9,659**億円

※2 2020年度(3月末時点)の総資産に
占める自己資本の割合

1株あたり配当金



ポイント

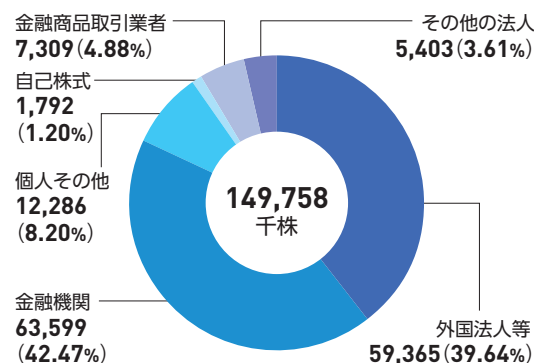
- 1 テレワークの拡大などを背景に、電子機器の組み立て用部材および半導体の生産における工程用部材並びにノートパソコン、タブレット端末用光学フィルムの需要が伸長しました。
- 2 新たに高精度基板をスマートフォン用部材として供給を開始し、業績に寄与しました。

株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行済株式の総数 149,758千株
株主数 28,456名

所有者別分布状況

(単位: 千株)



表紙写真: 亀山事業所

株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)
定時株主総会 6月
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話:0120-094-777(通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto公式SNSでも情報を発信しております。

